

GSJ 地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース



11月号

-
- 331 **資源産業と地質との関わりを直接学べる南関東ガス田での見学会の魅力とは**
—石油技術協会の見学会での実施経験を振り返って(温故知新の旅)—
第4部 特別見学会(地質編)2:天然ガス自然湧出現場(瑞沢川 西門橋)と大田代層(いすみ市文化とスポーツの森)の見学 徳橋秀一
-
- 354 **「地質情報展 2022 あいち—発見!あいちの大地—」開催報告**
遠山知亜紀・宮下由香里・渡辺真人・利光誠一
-
- 359 **日本地球惑星科学連合 2022 年大会の展示ブース出展報告**
遠山知亜紀・斎藤 眞・宮下由香里・宍倉正展・利光誠一
-
- 362 **新人紹介** 左部翔大・寒河江皓大
-

地圏資源環境研究部門の最新研究 ～新たなチャレンジと展望～

2022
12.7 (水)

ステーションコンファレンス 万世橋 4 階

会場・参加
東京都千代田区神田須田町 1-25 JR 神田万世橋ビル 3F・4F
◆ JR 秋葉原駅 電気街口徒歩 4 分 ◆ 千代田線新御茶ノ水駅 A3 出口徒歩 3 分
開催時間：13：30～17：20（13：00～受付開始）
参加費：無料、定員 150 名 / 事後に一部動画配信あり（要事前登録）
参加申込み締め切り：令和 4 年 12 月 2 日（金）まで

昨今の国際情勢の急速な変化や不安定化に伴い、エネルギー・資源等の安定供給や環境制約への対応は、これまで以上に喫緊の課題になっています。本報告会ではこれらの社会課題の解決に関連する当部門の最新の研究活動を中心に、3 年ぶりとなる対面開催での口頭発表とポスターセッションによって広く深く皆様にお伝えします。

[共催] 産業技術連携推進会議 環境・エネルギー一部会 地圏環境分科会、知的基盤部会 地質地盤情報分科会

プログラム

13：30～13：35	開会のあいさつ
13：35～14：00	地圏資源環境研究部門の概要 - 社会との接点を目指して - 研究部門長 今泉 博之
14：00～14：25	微生物を培養して社会実装につなげる - 深海底堆積物と休廃止鉱山での取組み - 地圏微生物研究グループ 片山 泰樹
14：25～14：50	メタンハイドレート形成に関与した流体の起源推定：炭酸塩岩のリチウムに着目して 地圏微生物研究グループ 宮嶋 佑典、鉱物資源研究グループ 荒岡 大輔
14：50～16：00	ポスターセッション
16：00～16：25	金属元素の安定同位体比分析手法の開発と資源・環境への応用 鉱物資源研究グループ 荒岡 大輔
16：25～16：50	地熱井掘削用の PDC ビットの開発 地圏メカニクス研究グループ 宮崎 晋行
16：50～17：15	微生物の自然浄化能を活用した地圏環境汚染の修復 地圏環境リスク研究グループ 川辺 能成、吉川 美穂
17：15～17：20	閉会のあいさつ

参加お申込み方法

- 地圏資源環境研究部門のホームページ (<https://unit.aist.go.jp/georesenv/>) にアクセスしてください。
(地圏資源で検索、または右記の QR コードからもアクセス可能です。)
- オンライン参加：要事前登録・対面参加と同じ参加申込サイトからご登録下さい。対面開催終了後、一部講演の録画動画をオンデマンド配信いたします。
- 参加お申込みは、密集回避のため定員 150 名までとさせていただきますので予めご了承ください。また定員超過後のお申込みの方には、お断りの連絡をさせていただきます。新型コロナウイルス等感染症の拡大状況によっては定員未達での参加受付の打ち切りや、対面開催そのものを中止する場合もございます。
- ジオ・スクーリングネット：対面でのご参加の方のみ、CPD (3.5 単位) の取得が出来ます。
- お問合せ 〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 (第 7 事業所) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 研究成果報告会事務局
✉ M-gsj-symposium37-ml@aist.go.jp



第38回 地質調査総合センターシンポジウム

美ら海から知る 美ら島の歴史

— 500万年間の地史を求めて —

2022年

12 / 21 水

会場：沖縄県立博物館・美術館（おきみゆー）
博物館 講堂（沖縄県那覇市おもろまち3丁目1-1）

日時：2022年12月21日（水）
13時～17時（受付開始12時30分）

定員：200名（事前登録制）

主催：GSJ 国立研究開発法人
産業技術総合研究所
地質調査総合センター

後援：国立大学法人琉球大学、沖縄県、沖縄地学会
株式会社沖縄タイムス社、株式会社琉球新報社

CPD：3.5単位（ジオ・スクーリングネット）

事前
登録制

参加費
無料

講演プログラム

■ 基調講演

琉球海溝ぞいの地震と津波：過去・現在・将来
…… 佐竹 健治（東京大学地震研究所 所長）

■ 美ら島をつくる！ 海底下のできごと

…… 荒井 晃作（産総研 地質情報研究部門）

■ 沖縄の海底に広がる砂と泥の話

…… 板木 拓也（産総研 地質情報研究部門）

■ 測深技術と海底地形

…… 小田 啓邦（産総研 地質情報研究部門）

■ 地層と化石が語る美ら島の成り立ち

…… 藤田 和彦（琉球大学 理学部物質地球科学科）

■ 美ら海の深海まで広がるサンゴの世界

…… 千徳 明日香（琉球大学 理学部物質地球科学科）

■ 遺伝子解析で沖縄周辺の浅海・深海域の海洋生物の
分布を紐解く …… 井口 亮（産総研 地質情報研究部門）

■ 繰り返されるサンゴ礁域から深海への土砂輸送

…… 池原 研（産総研 地質情報研究部門）

事前登録、
講演の詳細は
ウェブで▶

[https://www.gsj.jp/researches/
gsj-symposium/sympo38/](https://www.gsj.jp/researches/gsj-symposium/sympo38/)



お問い合わせ

地質調査総合センター 第38回 GSJ シンポジウム事務局
✉ M-gsj-symposium38-ml@aist.go.jp
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7



GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 小松原純子
委員 竹原孝
児玉信介
戸崎裕貴
草野有紀
宇都宮正志
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 11 巻 第 11 号
令和 4 年 11 月 15 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
TOSAKI Yuki
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 11 No. 9
November 15, 2022

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan



ジュラ紀付加体の遠洋性深海堆積物は基本的にチャートからなるが、ペルム系最上部から中部三畳系最下部にかけては特異的に灰色珪質粘土岩と黒色有機質粘土岩からなることが知られている。栃木県鹿沼市に建設中の南摩ダム周辺で、大規模な灰色粘土岩と黒色粘土岩の露頭が現れた。これら粘土岩からなる地層は、写真中央から左の部分に顕著なように、一般に褶曲や破断による変形のために層序復元が難しい。そのため、かつて黒色粘土岩はペルム紀末大量絶滅の層準からしか知られていなかったが、近年の研究で絶滅から約 200 万年後と約 500 万年後にも同様の黒色粘土岩が堆積したことが明らかになっている。なお、南摩ダムには、独立行政法人水資源機構思川開発建設所の許可を得て、建設工事現場への立ち入り及び調査・撮影を行った。

(写真：伊藤 剛・文：武藤 俊 産総研地質調査総合センター地質情報研究部門)

Lower Triassic pelagic claystone in Kanuma City, Tochigi Prefecture, Japan. Photo by ITO Tsuyoshi, Caption by MUTO Shun.